

日本産業衛生学会 北陸甲信越地方会ニュース

発行所：日本産業衛生学会 北陸甲信越地方会事務局
〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室
TEL：0263-37-2622 FAX：0263-37-3499
発行責任者：地方会長 野見山 哲生



巻頭言

『再びのコロナ禍での地方会開催に想ふ』



北陸甲信越地方会 新潟県常任理事
中平 浩人

『2021年10月31日(日)に新潟市に於いて、「第64回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会」が開催されます。ぜひ秋たけなわの新潟にお越しく下さい。ご参加を歓迎いたします。』

と、開催前のこの時期にご挨拶でき、通常開催が可能になるものと、昨年プログラムを企画し始めた頃、期待と共に予想しておりました。語弊覚悟で記せば、午後のシンポジウム「with コロナ時代の産業保健」はもしかすると時機を逸してしまうかも、と懸念したほどでした。ところが、第5波の大きさは想定以上で、近未来を読み切れなかった自らの「科学リテラシー」の至らなさを思い知りました。

他にも「科学リテラシー」を想う機会が、この夏二回ありました。ある職域接種会場で、接種慎重派有志が視聴を求めてきた動画の真偽判定を、事業者から依頼されました。動画は、臨床試験の英文プロトコールに記載されている「ワクチン開発で事前に評価すべきリスク」を、「ワクチン接種による健康障害」として舌鋒鋭く指摘していました。都合良く情報を取捨選択し、誤訳も多く、それらが意図的でなければ滑稽と呼ぶべき内容でした。確かに、mRNA ワクチンの長期的な安全評価は未確定のままです。ワクチンへの警戒やそれに引きずられるのも無理はないと思われませんが、情報の真偽を見抜く「科学リテラシー」の重要性を再認識しました。

もう一つは、地球規模で多発している集中豪雨、猛烈台風や猛暑等の自然災害です。地球温暖化が原因であるのは疑いの余地なし、と IPCC が発表したばかりです。各種災害から個人、企業や地域を守るためには、IPCC の理論や「持続可能」の真の意味を説明できる「科学リテラシー」が必要と痛感しています。余談ですが、温暖化は発熱した地球をみるようで、その表面で人が生を営んでいます。あたかも、発熱した人間の細胞とウィルスの構図と重なってしまいますが、地球環境と人の営みを科学的に理解しなければいけないと自戒しています。

最後に、コロナ禍で各種 ICT ツールの活用が社会に浸透したことは不幸中の幸いでした。来る地方会は、ご事情に合わせて参加を検討いただけるよう、開催形式を9月中に地方会本部と協議し、お知らせする予定となっております。

第64回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会総会

日時：2021年10月31日（日曜日） 9:30～15:15

会場：新潟県医師会館 〒951-8581 新潟県新潟市中央区医学町通 2-13

新潟県医師会会長 堂前 洋一郎 先生を大会長として新潟県新潟市で開催を予定しております。

総会当日はシンポジウムを予定しております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

一般演題 9:30～11:20

学会総会 11:30～12:00

シンポジウム「with コロナ時代の産業保健」（北陸甲信越地方会医部会共催） 13:10～15:15

(1) 「臨床現場から見た新型コロナウイルス感染症」

新潟市民病院 感染症内科科部長・感染制御室長 影向 晃

(2) 「with コロナ時代のメンタルヘルス対策」

医療法人崇徳会 こころのクリニックウイズ院長 後藤 雅博

(3) 「コロナ禍で始まった在宅勤務と社員の健康管理」

株式会社 INPEX 国内 E&P 事業本部 保健師 牛腸 伸江

お知らせ

今後、新型コロナウイルスの感染拡大状況により、開催方法の変更を伴う可能性がございます。「日本産業衛生学会北陸甲信越地方会」ホームページにて最新の情報をご確認くださいようお願いいたします。なお、参加希望の方は10月1日（金）までに「参加申込書」を事務局宛にお送りくださいますようお願いいたします。

※詳細は地方会ホームページをご覧ください。

※参加申込書は地方会ホームページ「行事案内」よりダウンロードしてください。

http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/chair/pmph/sanei_chihoukai/info/64chihokai.html

問い合わせ先

第64回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会事務局

〒951-8581 新潟県新潟市中央区医学町通 2-13

新潟県医師会業務課内

TEL：025-223-6381（平日9時～17時） FAX：025-224-6103

E-mail：gyoumu@niigata.med.or.jp



第64回 日本産業衛生学会 北陸甲信越地方会
(新潟産業保健研究会第28回研修会)

日時 令和3年10月31日(日) 9:30～15:15
会場 新潟県医師会館(新潟市中央区医学町通2-13)
学会長 堂前 洋一郎(新潟県医師会会長)

主催：日本産業衛生学会北陸甲信越地方会
共催：新潟産業保健研究会・新潟県医師会
新潟産業保健総合支援センター

【参加費】日本産業衛生学会
学費員 無料
非学費員 1,000円(抽口発行にて紙版)

プログラム

午前の部	9:30～11:20	一般演題
	11:30～12:00	総会
午後の部	13:10～15:15	シンポジウム 「withコロナ時代の産業保健」
		座長 新潟産業保健総合支援センター所長 健裕建郎

- 臨床現場から見た新型コロナウイルス感染症
新潟市民病院 感染症内科科部長・感染制御室長 影向 晃
- withコロナ時代のメンタルヘルス対策
医療法人崇徳会 こころのクリニックウイズ院長 後藤 雅博
- コロナ禍で始まった在宅勤務と社員の健康管理
株式会社INPEX 国内E&P事業本部 保健師 牛腸 伸江

※日本医師会認定産業衛生学 専門研修2単位(申請中)
※日本産業衛生学会産業保健看護専門学制度研修単位(申請中)

第64回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会事務局
新潟県新潟市中央区医学町通2-13(新潟県医師会業務課内)
【E-mail】gyoumu@niigata.med.or.jp
【TEL】025-223-6381(平日9時～17時) 【FAX】025-224-6103

会員の取組み



医師会と産業保健

富山県医師会常任理事・
富山市医師会副会長

堀地 肇

昨年より産業保健の現場も新型コロナウイルス感染症に振り回されています。

働き方改革関連法の改正に伴う「産業医の独立性と機能強化」を受けて、日本医師会の産業医制度も将来を見据えた改革が必要になっています。しかし、職場の感染対策に緊張を強いられ、さらにワクチンの職域接種も加わり、それどころではないといった雰囲気です。感染増加を契機に「テレワーク」などの働き方の変化や、観光・飲食・交通などの業界における需要と雇用の消失もあり、就労環境と産業構造は大きく変わりました。今後、AfterCoronaの時代になるのか、それとも WithCorona の時代になるのかさえ見通せない状況ですが、社会の変化に合わせて産業保健活動も進化が求められています。昨年の「日本医師会産業保健委員会答申」においても、産業医機能を高めるために、産業医の組織化を図るとともに、スキルアップ・情報提供・活動支援・相談対応・事業場斡旋の5事業の必要性が示されました。

日本医師会認定産業医取得者は10万名を超えていますが、更新し有効な認定産業医は約65%、さらに産業医として活動している者はその半分以上とされています。意欲のある認定産業医に対し、更新研修と産業医就任の機会を提供することが医師会の重要なテーマとなっています。昨年5月31日に「第1回全国医師会産業医部会連絡協議会」が開催され、その中で産業医のスキルアップと支援などのために、日本産業衛生学会・産業医科大学・産業保健総合支援センター等との連携強化が示されました。今後、多くの産業医が有効に活動するためにも、日本産業衛生学会の医師や専門職の方々から指導を受け、連携することはたいへん有意義なことと思っています。高齢になっても、病気になっても、それぞれの能力に応じて働く時代となりました。健康で安全に働くことのできる職場を実

現するためにも、医師会は認定産業医のスキルアップを目指すとともに産業保健機能を進化させたいと考えています。



「長野県産業看護研究会の活動について」

NTT東日本 健康管理センタ

加藤 美雪



この度、地方会ニュースへの寄稿という大変貴重な機会をいただきましたので、私が会長を務めております「長野県産業看護研究会」（以下研究会とする）についてお伝えしたいと思います。

研究会は、平成6年に研修会や情報交換等、産業看護職の資質向上のため立ち上げられた自主組織です。

多い時には会員数が100人以上となり、研究会全体の研修会のみならず、地区ごと（県内4ブロック）に交流会等を開催するなど活発な活動が行われてきました。残念なことに、会員数は徐々に減少し、現在は50名ほどで活動しております。

会員数の減少に伴い、役員体制も見直し、2020年度より長野産業保健総合支援センターに事務局をお願いいただけることとなりました。研修会の開催、会員への情報発信等大きな役割を担ってくれている力強い存在です。

私が会長を引き継いだ時にはすでにコロナ禍での活動となり、今まで集合で行われていた研修会等が出来ず、どのように活動を展開すればよいのか、役員一同頭を悩ませました。

集合研修が困難な状況の中、昨年12月、今年の3月には長野産業保健総合支援センターとの共催で研究会の「オンライン研修会」を開催することが出来ました。研究会の力だけではなし得なかった事と感謝しております。

研修会は研究会の会員のみならず、県外からの参加者もあり、チャットを活用した質疑応答では時間内に回答出来ないほど活発なやりとりがありました。オンライン研修になり参加しやすかったとの声

もいただくと共に「もっと情報交換をしたい」等会員同士つながる機会を求める声も聴かれ、思うように集まることの出来ない環境だからこそ、共に学び、情報交換する場があることが求められていると実感しました。

コロナ禍でのマイナス面だけをとらえるのではなく、会員同士がつながれる新たな手段、可能性を手にすることが出来たと前向きにとらえ、活動を展開していけたらと思っております。

地方会事業から

福井県の産業看護部会の活動

北陸電力(株) 福井健康管理センター
保健師 白崎慶子

福井県産業看護部会会長の白崎です。現在の産業看護部会の会員数は21名で以前より若干減少傾向です。今年度は会員数増加をもくろみ、会員募集のチラシを作成しました。福井産業保健総合支援センターのご協力もいただき、定例の研修会で配付しております。

昨年令和2年度は11月に産業看護職研修会を開催し、県内の産業看護職14名の方々に参加をいただきました。例年6月にも開催しておりましたがコロナ禍のため中止を余儀なくされました。

本年令和3年度は福井県内の新型コロナ流行もある程度落ち着いていたため、6月に産業看護職研修会を無事開催し、13名のご参加をいただきました。講師として、福井障害者職業支援センターの遠藤有希先生に「リワークセンターの復職支援」、福井産業保健総合支援センターの吉田正博先生に「発達障害の就労と支援」、同じく高山英之先生に「事例で見る仕事と治療の両立支援」、についてそれぞれご講演いただきました。休憩時間には、職域でのワクチン接種の情報交換を行い、有意義な研究会となりました。

これからも福井県の産業保健活動の活性化を図るべく地道な活動を続けていきますので、北陸甲信越地方会の皆様の御協力をお願いいたします。

新入会員紹介

金沢大学 理工研究域
地球社会基盤学系

畑光彦

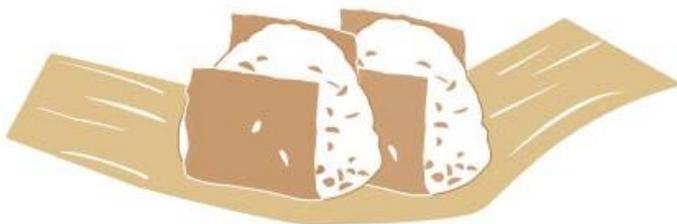


この度日本産業衛生学会並びに北陸甲信越地方

会に入会させていただきました畑光彦と申します。研究対象はエアロゾル、つまり私たちの身の回りにある「小さな粒子を含んだ空気」で、本学の古内正美教授とナノ粒子の個人ばく露を捕集・分析する「ナノ粒子個人サンプラ」を開発したことをきっかけに、ナノマテリアル取扱などの粉じん作業にかかる個人ばく露測定のお機会をいただくことができました。

大気中の微小粒子(PM2.5)、吸引性粉じん、そして昨今課題となっている新型コロナウイルスなどのエアロゾル感染の挙動は、エアロゾル粒子として共通の物理法則で説明できますが、作業環境の中では粉じんの濃度が激しく変動しており現象がとても複雑です。作業の方々にナノ粒子個人サンプラを装着していただき、個人ばく露を直接測定することで、定点の測定だけでは見えなかった様々なことがわかってきました。一方で、個人サンプラの装着は作業の方への大きな負担となりますので、より小さく、より軽く、より詳細な情報が得られる技術開発が必須と考えております。

今後も産業衛生について学び、研究を深めたいと思いますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



私たちの職場

保健師 木澤あゆみ

『パナソニック（株）ライフソリューションズ社 新潟工場健康管理室』

(2021 年 10 月 1 日付 パナソニック（株）くらし事業本部 エレクトリックワークス社に社名変更)



パナソニックの歴史は、松下幸之助創業者が松下電気器具製作所を立ち上げた 1918 年（大正 7 年）に始まります。新潟工場は 1973

年に新潟県燕市（旧分水町）で操業、施設用の蛍光灯照明器具の生産を開始しました。

現在は、ライティング事業部の主力工場として、照明用デバイス・器具の開発設計、製造を行っています。社員約 600 名と同数程度のパートナー（協力会社）社員が勤務しています。

健康管理室スタッフは常勤保健師 1 名と、週 1 回の嘱託産業医 1 名の体制です。

年間を通じて各種健康診断を中心に保健事業に取り組んでいます。また、日常の業務としては、産業医指導のもと、職場巡視や安全衛生委員会への出席、各種健診結果に基づく事後措置やメンタルヘルス対応、感染症対策（予防接種）などを担当しています。

新潟工場は交替勤務の関係もあってか、若年男性の肥満率が高く、将来的な健康管理を見据えて、20代

30 代の方にも特定保健指導同等の指導を行ってききました。

数回にわたりご案内を送り、健康管理室に来てください！とアプローチしてみましたが、若年者の来室は 2～3 名でした。成果もみられませんでした。

要精検、要受診の方も、何度か手紙を送りってみても反応なし。もっと手厚く（しつこく）しなきゃいけないのかしら？なんだが手厚くするほど無関心度・無反応度がたかくなっていない？と悩む日々でした。

そんな中、パナソニックグループの健康管理室の有志活動として、健診結果に対する社員の自律的な健康行動を支援する、ツール作成参加する機会を得ました。

リーダーである東京の産業医から「社員一人一人が持つ、健康への想いや行動する力を信じて尊重することが大事」だとお聴きして、目からウロコでした。

「知識はある」を「行動する」に結びつけるための情報アクセスツールを協働で作成しています。今年度からの保健指導では、ツールのブラッシュアップと、社員自身の自律的な健康行動を尊重する支援をしていきたいと考えています。

会員 Relay ☆

リレー形式で会員の皆様の紹介をつないでいきます！

JFE 精密株式会社 渡辺京子さんのご紹介でスタート♪

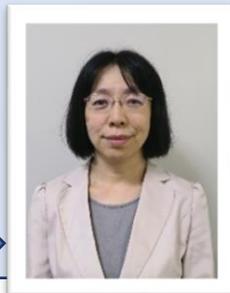
出会は、産業看護部会で。頼れる先輩です。



小川 千春

所属：三菱ガス化学(株)新潟工場
職種：看護師 衛生管理者 PSW 産業カウンセラー
趣味：己書師範。メンタルヘルスに活かさないか画策中
ひとこと：今年度より新潟県臨床心理士会に協力いただき 1 回/月カウンセリングデーを開始。ZOOM 参加可能な運動イベント等、コロナ禍暗中模索です。

健康保険組合連合会新潟連合会保健師/新潟産業看護部会副会長で頼りになる存在です。



小坂智恵子

所属：健康保険組合連合会新潟連合会
職種：保健師
趣味：漫才師（米粒写経）のオンライン配信を見て笑っています
ひとこと：新潟県内の健保組合と協力して特定保健指導や生活習慣病予防セミナーで働く世代の健康支援をしています。

産保センターから産業看護職を支援してくださっています。



大橋 寛子

所属：福井産業保健総合支援センター
職種：産業保健専門職（保健師）
趣味：動画配信鑑賞、御朱印めぐり、作り置きおかずで没頭すること
ひとこと：中小規模事業場訪問に注力しています。その次につながる丁寧なアプローチを模索しています。ピアノの練習をもう少し頑張りたいです。

次号へ

受賞報告

安全衛生に係る優良事業場、団体又は功労者に

対する厚生労働大臣表彰（田村 三樹夫）

厚生労働大臣功績賞を受賞して（ご報告）

田村労働安全衛生コンサルタント事務所 所長 田村三樹夫



令和3年7月1日に新潟労働局の会議室において、新潟労働局長から令和3年度厚生労働大臣功績賞をいただきました。この表彰は長年にわたり労働安全衛生活動を活発に推進し安全衛生水準の向上に寄与した者に対して毎年行なわれているものだそうで、身に余る光栄と存じている次第です。

振り返れば、1982年に作業環境測定士、1990年に労働衛生コンサルタント(工学)、1997年に労働安全コンサルタント(化学)を取得し、1998年からは(独)労働者健康安全機構 新潟産業保健総合支援センターの産業保健相談員の委嘱を受け、長年にわたり作業環境測定・環境改善、労働安全衛生教育、産業保健セミナー講師等の実施により、主として新潟県内の事業場の安全衛生水準の向上に努めてまいりました。

また、この間各種災防団体の委員会委員等を承り、主として労働衛生工学分野の安全衛生規則改正等に伴うガイドラインや仕組み作り等に参画してまいりました。

なお、今後も本会産業衛生技術部会幹事として、引続き精進し、とりわけ新潟県内事業場の安全衛生水準の向上に微力ながら努めてまいり所存です。

引き続き、皆様からのご指導をよろしくお願い申し上げます。

長野労働局長優良賞（大日本法令印刷株式会社）

長野県労働基準協会連合会長 衛生管理功労者

（藤澤 美和子）

大日本法令印刷株式会社 総務部 藤澤 美和子



この度の、会社と、産業看護職の同時受賞を大変光栄に思います。

当社のトップは社員に「健康な社員が健康な会社をつくる」と、ことあるごとに健康

を大切にす経営姿勢を伝えて参りました。看護職が半世紀前から勤務していることから、この経営姿勢が引き継がれ、当社の創業110年を支えてきたことがわかります。

私も入社以来、産業保健職として、会社の理解を得、学会活動や外部に発信し、そこで得たものを社内に還元するという恵まれた環境の中で仕事をさせてもらってきました。日頃より支えてくださった多くの方々と、活動を通じてつながったご縁に心より感謝申し上げたいと思います。

第94回日本産業衛生学会表彰

倫理委員会委員長表彰（伊藤 かおる）

株式会社コミュニケーションズ・アイ 伊藤かおる



このたび第94回日本産業衛生学会において、倫理委員会委員長賞を頂き、大変な栄誉であるとても驚き、また心からありがたく感じております。受賞した研究発表は、「オンライン衛生巡視で行うメンタルヘルス対策—テレワーク現場への試行—」です。これは東京大学大学院医学系研究科精神

保健学分野 職場のメンタルヘルス専門家養成プログラムにおける私を含め4名のチームによる共同研究の第4報です。その中で私たちは、職場のメンタルヘルス向上を目的として、チェックリストに沿って労働者の観察と上司と部下にヒアリングを行う、新しい衛生巡視方法を考案しました。

今回の発表はそれを新しい職場環境である「オンライン勤務」の衛生巡視へ応用したものです。今回オンライン上で労働者自身がテレワーク環境を評価するバージョンを作成しました。さらにその評価に基づき衛生管理者がオンラインで上司にヒアリングし、他職場の好事例を共有する。また安全衛生委員会でも1か月ごとの職場の衛生状況の推移をリアルタイムに確認する。というスキームです。今後も職場のメンタルヘルスに寄与する研鑽を積んでいきたいと存じます。

ダイバーシティ推進委員会委員長表彰

(和田 直子)

新潟医療福祉大学看護学部看護学科 和田直子



この度、第94回日本産業衛生学会において、委員長表彰を受賞いたしましたので報告させていただきます。

学会では、「産業看護職による子育てと仕事の両立支援の現状」というタイトルで発表致しました。子育てと仕事の両立困難は、女性労働者の離職率を低下させるだけでなく、少子化の原因にもなります。そのため、労働者の心身の健康を支援する産業看護職を会社で雇用し、女性の就業を支援する動きが見られてきています。しかし、両立における産業看護職の活動実態は不明な点が多く、それ故、支援の範囲や役割について統一した見解は得られていませんでした。そこで、今回、産業看護職の活動実態を把握するために本研究に取り組みました。産業看護職は単に両立支援制度の利用を促すだけではなく、子育て中の女性が両立における自らの健康課題に気づき、解決に向けた行動を自主的に起こしていけるよう支援していく役割も担っていることが分かりました。

今回の発表にあたり、調査にご協力いただいた産業看護職の皆様はこの場を借りて改めて感謝を申し上げます。次の学会にもつなげられるよう、今後も頑張っていきたいと思っております。

新型コロナウイルス感染症関連セッション 優秀演題賞

(仲佐 美鈴)

上小保健師会 産業部会 仲佐美鈴 (日置電機株式会社)

この度は、第94回日本産業衛生学会新型コロナウイルス感染症関連セッション優秀演題賞をいただき、大変光栄に存じます。発表準備に際し、ご指導いただきました野見山教授をはじめ、ご協力いただきました共同研究者の皆様方のご指導とご支援の賜物です。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



日頃から上小保健師会では住民の暮らしと健康を守ることを目標に保健活動を展開していたこともあり、新型コロナウイルス感染症対策においても上小保健師会の活動をとおして、産業保健師と保健所保健師の連携を図り取り組むことができました。今回の受賞は、その取り組みに対してご評価いただけたものと思っております。

今後も活動を継続し、地域連携を図りながら、ともに健康づくりに取り組み、産業看護の発展にも貢献していきたいと思っております。



事務局から

理事会報告

○2021年度北陸甲信越地方会常任理事会

下記の通り行われました。

【日時】2021年6月19日(土) 13:00~15:00

【会場】インターネット会議 (Zoom)

○役員変更のお知らせ

▷山梨県監事：丸山猛士 (有限会社 KSG)

お知らせ

○会員情報にメールアドレスの登録をお願いします。

会員の皆様への様々なご連絡、地方会ニュースの配信、地方会役員選挙の電子化などメール送信を通じたご連絡が増えております。ご登録が不適切な方は、再登録をお願い申し上げます。

<登録変更の方法>

①Webサイトから

日本産業衛生学会のトップページ より

<https://www.sanei.or.jp/>

会員ログイン 会員番号とパスワードでログイン
※初期パスワードは生年月日です。

↓
プロフィール変更 左メニューより「プロフィール変更」を選択し、入力画面にて変更する

↓
プロフィールを変更する ボタンを押して確定

②FAX 送信または郵送

日本産業衛生学会のホームページより書式をダウンロード

<https://www.sanei.or.jp/>

入会案内 会員番号とパスワードでログイン
※初期パスワードは生年月日です。

↓
入会申込書 書式ダウンロードページへ

↓
登録内容変更届 (退会届を含む) 書式ダウンロード

↓
変更内容を記入し FAX送信または郵送
※下記の提出先までとなります。お間違えないようお願い申し上げます。

FAX 03-5362-3746

郵送 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-29-8 公衛ビル内
公益社団法人 日本産業衛生学会 宛

今後の行事案内

○第64回北陸甲信越地方会総会

【開催日】2021年10月30日(土) 理事会

31日(日) 学会・総会

【大会長】新潟県医師会会長 堂前洋一郎

【事務局長】中平浩人 (新潟青陵大学)

【会場】新潟県医師会館 (予定)

○産業医部会・産業看護部会・産業衛生技術部会
3部会合同研修会

【開催日】2021年10月19日(火)

【開催方法】Zoomによる双方の配信

【申込〆切】2021年10月13日(水) 正午まで

下記の Google フォームからお申込みください

<https://forms.gle/HxvYHxqV1eAmDYjGA>

会員訃報

北陸甲信越地方会所属の学会員が逝去されました。

武川 修 (医療法人武川会武川病院)

松島 利雄 (公益財団法人友愛健康医学センター)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

会員の皆様に各記事の執筆を賜り誠にありがとうございました。コロナ禍の中でも皆様の懸命な取り組みが見受けられ、ここに会員の皆様の近況をお知らせすることができましたことを喜ばしく思います。発行に際してご協力、ご尽力いただきました先生方へ改めて感謝申し上げます。

今後も地方会員の皆様の活動や取り組みを広報し、地方会におけるさらなる産業保健の発展を皆様とともに担って参りたいと思います。ご意見やご感想などございましたら編集委員までお寄せ頂けると幸いです。

編集委員 (五十音順)

編集委員長：森河 裕子

副編集委員長：塚原 照臣

編集委員：池田 裕子, 稲寺 秀邦, 遠藤 和男,

小坂 智恵子, 佐藤 一博, 高山 英之,

角田 ひろみ, 西澤 依小, 松永 康弘,

丸山 猛士

事務局：當房 浩一, 長谷川 航平, 水木 将